

トピック(テーマ)	真田三代の妻妾・子女		
ねらい	名将、豪傑にも妻があり、子女があった。真田三代の妻妾・子女について調べる手がかりを提供する。		
キーワード	河原隆正妹 羽尾幸全女 山之手殿(寒松院) 菊亭春季(きくていはるすえ)女 宇田頼忠女 京の御前様 於北様 村松殿 本多忠勝女小松殿(大蓮院) 玉川秀政女右京(うきょう) 正受老人の母 佐久間勝宗室(見樹院) 小野のお通 小野宗鑑尼(そうかんに) 大谷吉継女竹林院(ちくりんいん) 堀田作兵衛女 高梨内記女 豊臣秀次女 阿菊(すへ) 於市 阿梅 あぐり 真田大助幸昌(ゆきまさ) 御田(おた) 姫 阿菖蒲(おしょうふ) おかね 大八(片倉守信)		
概要を知るためのツール	1	書名	真田一族と家臣団: その系譜をさぐる
		著者名	田中誠三郎 / 著
		出版社	信濃路
		出版年	1979年
	内容紹介	真田弾正忠幸隆の妻妾・子女、真田昌幸の妻妾・子女、真田信之の妻妾・子女、真田信繁(幸村)の妻妾・子女について詳述されている。	
	2	書名	真田幸村と真田一族のすべて: 決定版
		著者名	小林 計一郎 / 編
		出版社	KADOKAWA
		出版年	1905年7月
	内容紹介	真田一族人物事典の章に真田昌幸・信之・信繁の妻妾・子女につて記載されている。	
3	書名	新編 信濃史料叢書 [第15巻―第18巻]	
	著者名	信濃史料刊行会 / 編	
	出版社	信濃史料刊行会	
	出版年	1977	
内容紹介	<p>真田家御事蹟稿</p> <p>この事業の中心になって編輯に当たったのは、真田家重臣河原綱紀で、天保9年幸貫から編纂(へんさん)を命ぜられ、7年の歳月を経て天保14年12月に至って、正編62巻に及ぶ大冊の編纂を完了した。</p> <p>内訳は、「先公御事蹟稿1巻につづいて、一徳斎殿幸隆関係上中下3巻、信綱寺殿信綱のものが1巻、長国寺殿昌幸関係が全14巻、寒松院殿昌幸夫人の部が1巻、大鋒院殿信之関係が全て25巻、信之夫人関係が上下2巻、大光院左衛門佐信繁(幸村)の部が4巻、…」である。(「新編信濃史料叢書第15回配本にあたって」)</p>		
資料リスト	1	書名	真田史料集
		著者名	小林 計一郎 / 校注
		出版社	東京: 新人物往来社
		出版年	1985年
	内容紹介	本書は『真田家御事蹟稿』の翻刻・校注版である。	
	2	書名	真田一族
		著者名	小林計一郎 / 著
		出版社	新人物往来社
		出版年	1979年
	内容紹介	不屈の一族を詳述する。	
	3	書名	智謀の一族真田三代(歴史新書y)
		著者名	三池純正 / 著
出版社		洋泉社	
出版年		2015.11	
内容紹介	城址の現地調査や数少ない史料、伝説・伝承を検証し、真田家の叛骨の歴史を解明する。		

	4	書名	智謀の一族真田三代（別冊歴史読本）
		著者名	
		出版社	新人物往来社
		出版年	2007.4
		内容紹介	真田六連銭の旗印のもと、奇謀と知略で乱世を生き抜いた信濃の名族、真田一族。命脈を伝えた「その後の真田一族」の4部構成。
雑誌	1	論題名	真田宝物館所蔵恩田文書について—戦国期真田家家臣の一形態—
		著者名	山中さゆり
		雑誌名	信濃
		巻号頁数	3次50巻7号
インターネット情報	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
	2	サイト名	真田宝物館
		URL	http://www.sanadahoumotsukan.com/
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	http://iss.ndl.go.jp/
新聞	1	記事	小松姫
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2016.2.26
		記事	小松姫
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2015.10.5
		記事	百八灯
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2015.7.8